

農業の振興について



櫻井 潤一郎 議員

質問…新規就農者の10年間の推移について伺います。

答弁…県の取りまとめによると、本市は平均して毎年20名程度の新規就農者がおり、ここ10年間でほぼ横ばいの状況であります。ここ5年前くらいからは青年層の新規就農の割合が高くなってきており、若い世代の農業への関心の高まりを感じています。また、スマート農業の実現によ

る競争力強化が柱に据えられたことにより、労働時間の縮減を初めとする低コスト、高収益経営が現実のものとなりつつあり、農業の楽しさや魅力が格段に高まり、今後はIT世代である若者の農業への参入が期待できると感じています。

質問…農協や他の団体と連携した新たな作物の作付の取り組みについて伺います。

答弁…水稻にかわる土地利用型園芸作物として、加工用タマネギ、加工用トマト、加工用ニンジンを新たな作物としてJAなすのや那須農業振興事務所と連携をして、国と県が進める水田フル活用による水稻の転換作物として園芸作物の作付を推進しています。水稻の作付を守ることも同じように大切なことだと感じています。

一般質問



君島 孝明 議員

台風19号による被害状況について

質問…箒川上石上取水口の対応について伺います。

答弁…上石上堰においては、来年2月の工事発注に向けて努力してまいります。下堰におきましては、大田原市土地改良区等と連絡調整を図りながら復旧に努めてまいります。

質問…工事請負業者に災害復旧を優先的に行うよう指示をしているのか伺います。

答弁…建設業協同組合のほうから、災害復旧を優先させていただきたいとの要望書をいただいておりますので、できるだけ災害復旧を優先するよう担当課のほうに指示をいたしております。

質問…上石上下堰の復旧はいつになるか伺います。

答弁…堤防下床の土砂はそれほど残っていないと見ておりますので、ボックスカルバートを敷

設し水門を設置して、現在残っているボックスカルバートと接続する工事で考えておりまして、来年の作付けに間に合う取水が出来るように工事発注をしていきたいと考えております。